

科目名	地域分析				
授業形態	講義	学年	1		
開講時期	2023 年度 後期	単位数	2		
担当教員	加藤 秋人				
内容および計画	<p>みなさんはそれぞれが住む、あるいは興味を持つ地域に対して、どのようなイメージや問題意識を持っているでしょうか。そしてそうしたイメージや意識は正しいのでしょうか。この授業では地域に関する統計データを基に、種々の地域について分析するための手法について学びます。扱うテーマは、人口、都市・農村の構造、各種産業など、多岐にわたりますが、受講生がそれぞれの興味に基づいて地域分析を実践できるような授業を予定しています。</p> <p>※下記の授業計画は、学生の状況およびコンピュータ機器の使用環境によって変更することがあります。</p>				
1	ガイダンス：授業の進め方についての案内・相談と、受講生との意見交換				
2	統計データの入手				
3	Excel を用いた統計データの加工：人口のグラフと人口ピラミッドの作成				
4	発表①：人口動向について				
5	「今昔マップ on the web」を用いた地域の時系列的比較				
6	「今昔マップ on the web」を用いた地域の時系列的比較				
7	発表②：地域の変化・構造について				
8	RESAS を用いた地域産業の分析				
9	RESAS を用いた地域産業の分析				
10	発表③：地域産業・地域経済について				
11	MANDARA を用いた地図表現				
12	MANDARA を用いた地図表現				
13	発表④：統計地図を用いて				
14	分析手法の振り返り				
15	最終発表				
教科書					
	タイトル	著者名	出版社	ISBN	発行年
	フリーGIS ソフト MANDARA10 入門（増補版）	谷 謙二	古今書院	9784772281232	2022
全体の中での使用回数は少ないものの、「MANDARA」使用回ではテキストがあることを前提にお話ししますので、ご用意いただくことをお勧めします。また、卒業研究などでも活用できると思います。					
参考書	日経ビッグデータ『RESAS の教科書－リーサス・ガイドブッカー』、日経 BP 社、2016 年。				
成績評価					
	評価方法				割合(%)
	最終発表を除く 4 回の発表				50
	最終発表				20
	授業への参加姿勢				30
出席回数が一定水準に満たない場合には、失格とする可能性があります。					

学習到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・地域分析に利用可能な種々のツール・サイト・統計の存在を把握し、活用できるようになること。 ・自らが明らかにしたい事象を分析するうえで最適な手法を選ぶことができ、わかりやすく表現できるようになること。 ・実行した分析を通じて、地域の特徴・長所や課題を明らかにし、地域の今後について精緻な検討ができるようになること。
先修条件	
実務経験	
その他	授業は、パソコンを用いた作業を中心として、ゼミ形式での実施を予定しております。発表は受講生の数により、グループ発表とするか個人発表とするかを決めます。